

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-200161

(P2011-200161A)

(43) 公開日 平成23年10月13日(2011. 10. 13)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
<b>C 1 2 P 7/56 (2006.01)</b>	C 1 2 P 7/56	4 B 0 6 4
C 1 2 R 1/84 (2006.01)	C 1 2 P 7/56	
	C 1 2 R 1:84	

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2010-70038 (P2010-70038)  
 (22) 出願日 平成22年3月25日 (2010. 3. 25)

特許法第30条第1項適用申請有り 日本農芸化学会関東支部 日本農芸化学会関東支部2009年度大会講演要旨集 2009年10月31日

(71) 出願人 598096991  
 学校法人東京農業大学  
 東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号  
 (74) 代理人 100122574  
 弁理士 吉永 貴大  
 (72) 発明者 中西 載慶  
 東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京農業大学内  
 (72) 発明者 徳田 宏晴  
 東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京農業大学内  
 (72) 発明者 本間 裕人  
 東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京農業大学内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 高純度乳酸の製造方法

(57) 【要約】

【課題】 生物学的手法を用いた簡便な高純度D 乳酸の生産であって、乳酸溶液中のL 乳酸を選択的あるいは優先的に資化する菌によって、簡便、効率的かつ低コストで高純度D 乳酸の製造方法を提供する。

【解決手段】 D 乳酸及びL 乳酸を含む乳酸溶液でL 乳酸資化性菌であるピキア マンシュリカ (Pichia manshurica) を培養し、該乳酸溶液中のL 乳酸を資化させることによってD 乳酸の純度を高めるL 乳酸除去工程を有することを特徴とする高純度D 乳酸の製造方法によって解決する。

【選択図】 図1

